

「自分はこんな夫だったのか」

—初めて気づかされた夫—

公益社団法人家庭問題情報センター 尾中 孝子

和男さんは、六十代後半、子どもたちも家を出て、妻と二人暮らしです。ある日、夫婦でテレビを見ていた時、夫婦間のDVの特集が放映されました。和男さんは何も考えずに見ていましたが、突然、妻が「これはあなたよ!」「ずつと我慢をしてきたけれど、もう限界!離婚も考えている」と叫んだのです。和男さんは妻が何を言っているか分からず、驚き、混乱しました。なぜ自分がDV夫なのか、離婚を言われるのか納得できず、来室されました。

**カ**(カウンセラー) どうされましたか。

**和(和男)** 自分は、定年まで真面目に勤め、

女遊びもギャンブルもせず、暴力を振るったこともありません。自分の家も持ち、間違ったことをしたこともない人間です。

それがDV夫だと言われたのですよ。DV夫とは、妻に暴力を振るう夫のことではないのですか。

妻は僕が大声で命令口調で話し、妻が「疲れた」と言うと「疲れたと言いな」と怒鳴ったり、何か気に入らないことがあると壁に当たり、険しい顔をして口も聞かず、部屋に閉じこもるなどしてきたことが、精神的なDVだと言います。

一緒に笑ったり、楽しく過ごすことがないので、もう嫌だ、限界ですと言われました。

**カ** ご自分では奥様から言われたことをどう思われますか。

どんな夫だったのかしら?

**和** 自分では大声で怒鳴っていたつもりはないけれど、昔から思うように行かないと、ついイライラして、確かに無意識に大声で一方的に話していましたね……。ドアを蹴ったこともあります。そんな時も妻は黙っていたので、大人しい妻だとずつと思っていました。

妻によると、子どもたちが高校生の時、

「お母さん、我慢しなくていいよ。離婚したければいいよ」と言っていたそうです。今回、初めて知りました。

家族がどう思っているかなど考えたこともありませんでした。

そう言えば妻がテレビを見て笑っているところに自分が入って行くと、妻は、ピタッと笑うのをやめ、チャンネルを変えていました。よほどビクビクしていたのですね。

僕は、子ども時代、父から男は泣いても笑ってもいけないと厳しく躰けられ、テレビでお笑い番組を見ることは「悪」と思い、テレビを見て笑ったことはなかったですね。

**カ** そうですか!奥様にとっては、さぞ窮屈だったでしょうね。

和男さんはお父さんの呪縛から解放されて、好みに泣き、笑いができると良いですね。

**和** 実は、自分が泣きたいのか笑いたいのかわからないのです。……(しんみり)

寂しいですね。本当に不器用な人間です。

会社時代も同僚から飲み会や遊びに誘われることは、あまりなかったです。よほど面白くない人間だったのだと思います。

真面目に仕事をすることが一番大事と  
思っていたので、別に同僚と付き合わなく  
ても良いと思っていました。

**力** 奥様はこれから二人で過ごす老後の生活  
について、いろいろ思うところがおりな  
のだと思いますよ。

一度ゆっくりこれまでを振り返ってみる  
といいですね。

しばらくして

**力** 思い出されたことがたくさんあるかと思  
いますが、いかがでしたか。

**和** 改めて思い出すと、本当に妻だけではな  
く、いかに人の気持ちを考えていなかった  
か、傷つけていたかと、しみじみ感じまし  
た。

僕は離婚など考えたこともないです。一  
人では家事もできないし暮らせないから、  
困ります！

**力** えっ！そういう気持ちのままだと、奥様  
と一緒に暮らしたいと思ってもらえるで

しょうか。

**和** (ハッと) そうですね、あまりに身勝  
手ですね。妻の気持ちを真剣に考えないと  
駄目ですね。

何とか老後を妻と一緒に過ごしていける  
ようにしたいと思っています。

一か月後

**力** あれから、いかがですか。

**和** 先日、妻の好きなドライブへ行った時、  
渋滞に遭いました。以前はイライラして怒  
鳴ったり、罵倒したりするので、瞬間湯沸  
器と言われましたが、今回は自分で意識し  
てイライラを抑え、ラジオを聞いたり、妻  
と話をして、待つことができました。

妻はよく庭の草取りを一人でしたとい  
言っていたのですが、自分は周りから妻一  
人にさせている酷い夫と思われたくない  
ので、一緒に草取りをしていました。今回、  
妻から一人で無心に草取りすると心が落  
ち着くということを知り、そつと見守  
ることにしました。

郷土史サークルの仲間から子どもの見守  
りボランティアを誘われ、始めました。妻  
から、表情が変わった、怖くなくなったと  
言われるようになりました。

こちらで、自然に笑って、誰にも話せな

かったことを話すことができ、この歳に  
なつて初めて自分を見つめ直すことがで  
きました。

本当に来て良かったです。感謝していま  
す。

**力** これからの二人の暮らしが心が通い合  
い、穏やかであるよう願っています。

DVとは身体的暴力だと思われがちです  
が、精神的な暴力も含まれています。それ  
に気づくことができた和男さんに、カウ  
ンセラーは安堵しました。

定年後の夫婦二人の生活は、これまでと  
違う新たな関係を築く必要があるかと思  
います。



家庭問題カウンセリングルーム